

すずしろ 22 会員の皆様

NPO 法人 すずしろ 22

発行責任者 小牧義隆



平成 25 年度 通常総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

2 月 23 日開催の NPO 法人すずしろ 22 の通常総会において下記の通り決議されましたのでご通知申し上げます。

敬具

決議事項

第 1 号議案 平成 24 年度活動報告

本件は資料に基づき飛田理事より説明があり
賛成多数で承認可決されました。

第 2 号議案 平成 24 年度決算報告

本件は資料に基づき菅家理事より説明があり
賛成多数で承認可決されました。

第 3 号議案 平成 24 年度監査報告

本件は資料に基づき川村監事より説明があり
賛成多数で承認可決されました。

第 4 号議案 平成 25 年度活動計画

本件は資料に基づき中村理事長より説明あり
賛成多数で承認可決されました。

第 5 号議案

本件は資料に基づき飛田理事より説明があり
賛成多数で承認可決されました。

第 6 号議案 定款の一部改正

本件は定款 第 2 条改正 全員賛成で
承認可決されました。

第 7 号議案 規定の一部改正

(援農規定、援農事務手当規定)
本件は賛成多数で承認可決されました。

第 8 号議案 役員改選 理事、監事の選任

本件は賛成多数で承認可決されました。
新理事：中西忠一、佐久間寛子、小牧義隆、長井確晴、
飛田恵美子、井上明、菅家加代子、石倉洋子
、 佐藤瑞恵、清水義秋、石川研
新監事：川村美恵子、若林裕子

* 総会の休憩時間に別室にて新理事、新監事で理事会
を開催。
定款第 14 条により理事の互選で小牧理事が新理事
長に選任された。
この事を総会で報告。

第 9 号議案 主たる事務所の変更

事務所を東京都八王子市榑原町 681-8 に変更
本件は賛成多数で承認可決されました。

以上

新理事、新監事の NPO 法人すずしろ 22 活動に向けての抱負

小 牧 私、すずしろ 22 に平成 18 年に入会しました。入会暦は長いのですが昨年 3 月まで会社勤めを続けていた為、土曜日に援農と野菜販売に参加する程度で十分な活動は出来ませんでした。私がすずしろ 22 に入会した理由は「八王子の農地を農地として残す」という設立目的と、活動内容の、1、援農活動 2、遊休農地の活用 3、地産地消活動の 3 点に新鮮さと共感を感じたからです。しかし現状を見てみますと、援農活動は皆様のご協力で毎年、順調に伸張しておりますが、遊休農地の活用と地産地消活動の 2 点は決して満足出来る状況では有りません。そこで私は新理事長として、すずしろ 22 設立当時の原点に立ち戻り、当初の 3 つの活動内容を再認識し、活動毎に戦略を立て理事全員が担当分科会の先頭に立って積極的に課題に取り組み結果を出したいと考えております。そのためには、皆様とのコミュニケーション、情報交換を強化し情報共有化を図ることが大事であると考えております。どうぞ、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

石 倉 すずしろ 22 の皆さん、こんにちは。援農分科会の活動が始まって半年たち、昨年の援農アンケートでは大勢の会員さんから貴重なご意見をよせていただきました。この会に対する期待や愛情を感じ励まされました。今後も微力ではありますが、野菜作り講習会や映画会などを通してすずしろをご一緒に盛りたてていきましょう。どうかよろしくおねがいします。

中西 すずしろ22が2008年にNPO法人になった時から、理事をしています。援農は、農家にとっては、一番、大助かりなので、会は援農を優先で行けばいいと思います。農業委員が終わったら、今度は町会の役員で忙しく、理事会に出られない時もあり申し訳ないのですが、空いているときは、なるべく出ようと思っています。

井上 会員同士の結束力向上を図り、収穫祭（すずしろ祭り）、JA農業祭への参加をより充実させる。新たに生産者と共に学ぶ料理会（すずしろ旬菜会）を企て、季節ごとに連続して開催し、一般の参加者も含めた行事とする。

飛田 事務局長を引き続きさせていただくことになりました。すずしろ22が2005年に活動を始めて今年で9年目ですが、農家会員のみなさま、市民会員のみなさまのおかげで、会が大きく発展しました。本当にありがとうございました。ですが、その間、申し訳なかったと思うこともたくさんあります。私は人一倍抜けているので、今後も会員のみなさんにご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、抜けのないよう努力しますので、会を支えてください。よろしくお願いいたします。

清水 「すずしろ22」に加入し今年で5年目となります。一農家さんに年間約100回ほど援農でお世話になっております。先の総会で援農時間の大幅な伸張が報告されましたが、より一層、会員農家さんの力になれるための援農活動はどうあるべきか、何をすべきか。その解を求めため、今年は多くの農家さんへ援農に出向きたいと考えております。

佐藤 小学校の栄養士として31年間勤務していました。給食で八王子産の野菜を使わせて頂いたことが「すずしろ22」との出会いです。新参者の私ですが、理事として地産地消部会を担当します。「地場野菜を使った料理教室」を行う事で、広く市民の皆さんに「すずしろ22」の活動を啓発していきたいと思っています。

川村 着実に「すずしろ22」の援農活動が広がっています。さらに農地が地域のコミュニティーの場や会員と農家の皆さんの情報交換の場になるよう、力を出していきます。

菅家 今年は会計の様子が変わってきましたので、問題提起は早めに理事会に計って、支払いは速く、より明朗会計を目指したいと思っています。又都合で今年限りですので、後の方がやりやすいように常に考えて行動したいと思っています。

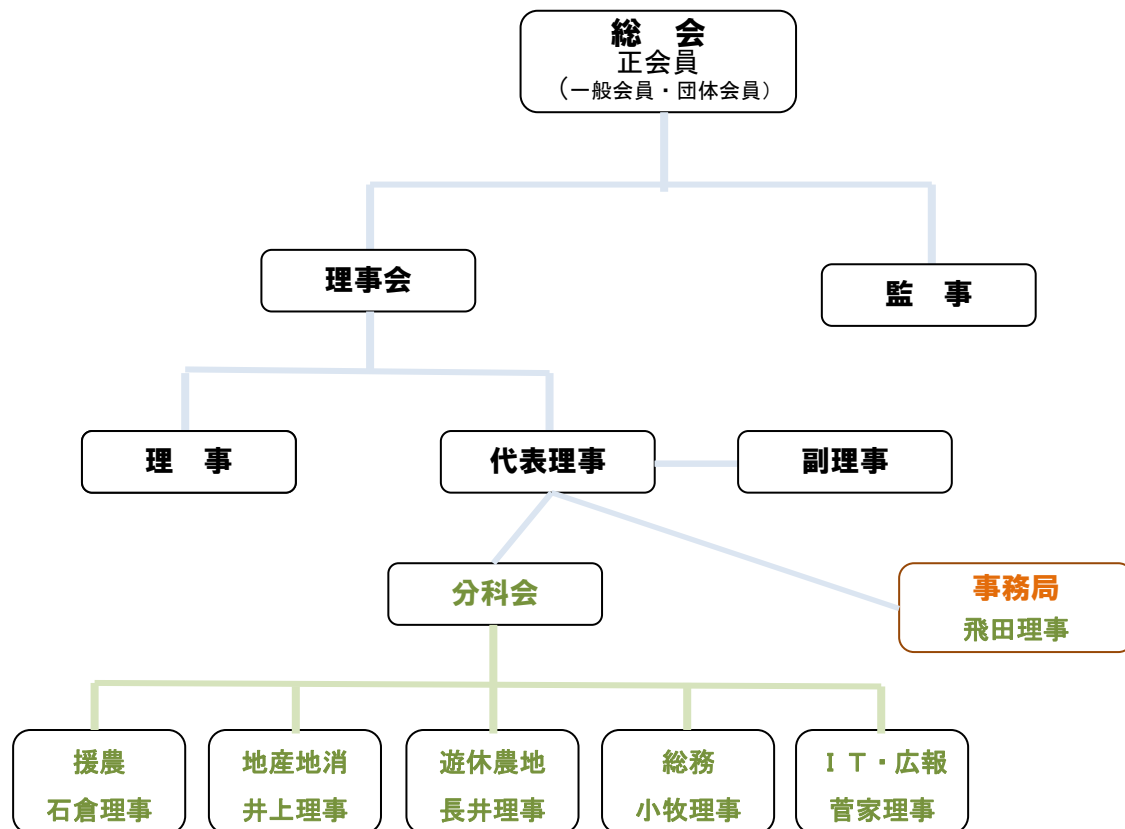
長井 私は地産地消として、市内の小学校へ給食用に地元野菜を農家から仕入れ、搬入する日々です。夏休み等には援農に参加します。行動を共にした際に、多くの方が『ヤッ!!』などと笑顔で会話が弾むと楽しいな・・・と思っています。どうしたら良いか考えたい。アイデアがありましたら、メール等で事務局へご連絡下さい。お待ちしております。

石川 石川研は高月町1085番地に昭和28年2月22日に誕生。今年で還暦を迎えました。自分が少し変わろうと思った矢先に飛田さんからすずしろ22の理事になって欲しいとの事。心良く引受けた次第です。宜しく願います。一応、農家です。

若林 10年ほど前、樹が切り取られ株だけが残るぶどう畑を見ました。跡を継ぐ人のいない農地はそのまま荒れていくだけと聞いて心が痛みました。農家が元気なら跡継ぎもできるし農地を残すことができます。それは環境保全や国内自給にもつながること。農地、農家の未来のためにすずしろ22と活動していきます。

佐久間 私の身近な風景に農地と里山があります。当時、生活クラブ生協組合員（八王子陣馬地域）で「地産地消」の大切さと身近な畑の有り難さが話題に。一方、農地が減っていくことも気になり、「農地を残そう」「援農をやりたい」と同じ思いの人が集まり、「絶対に実現させる」の飛田さんの一言が私の後押しになりました。畑、人のネットワークを広げる活動を担っていきたいと思います。

—————次の頁に組織図と総会の写真がありますのでご覧ください—————



総会・アンケート報告会の写真

中村さん水野さんへ感謝状



アンケート報告会



30名を越す人が集まりました。
来年はもっと多くの会員が集まる、
有意義な総会を目指します。

のぼり旗が会場案内！オレンジ色でとても目立ちます

